

販売上の注意事項

販売上の注意事項

■ コンソール

Express5800/100 シリーズでは、使用する OS が Windows NT、NetWare に関わらず、コンソール用の CRT 及びキーボードが必須です。1 システム毎に必ずコンソール用の CRT とキーボードを手配して下さい。

■ OS(Windows NT,NetWare)について

Express5800/100 シリーズでは、本体に添付されるデバイスドライバと合わせて、マイクロソフト社製 Windows NT 4.0 及びノベル社製 NetWare 3.2J,IntranetWare(それぞれの OS で動作する AP 含む)をインストールする事ができます。但し、システムとしてハードウェアを含めた保守が実施できる点で、純正の OS を手配するようにして下さい。

マイクロソフト社、ノベル社等から販売される OS,ソフトウェアを利用する場合には、ユーザに下記の点を十分に説明して下さい。

- ・当社からリリースする以外のソフトウェアには、出荷のタイミングにより Express5800/100 シリーズ用の一部デバイスドライバが添付されていない可能性があり、動作しない場合があります。その場合、ドライバの入手方法等はソフトウェアの購入元に問い合わせる事になります。
- ・バグ修正(保守)、リビジョン/バージョンアップ等に関しては、当社では行いません。その場合、ドライバの入手方法等はソフトウェアの購入元に問い合わせる事になります。

■ オプション品など純正品の使用徹底

Express5800 シリーズ用に販売されている他社製オプション製品(CPU/HDD/メモリ等)は動作保証の範囲外となるため、純正品のオプションを使用して下さい。他社製オプション製品の実装をユーザから求められた場合は、そのために発生したサーバの故障、データ損失や火災等による損害に関して、当社は責任を負いかねる旨を十分に説明して下さい。

■ ディスクコントローラと HDD の接続について

同一ディスクコントローラ(SCSI/アレイ)配下に異なる回転数(7200rpm と 10000rpm)の HDD を混在して搭載することはできません。また、Ultra2 SCSI 対応の HDD と Ultra SCSI(Wide)対応の HDD を混在して搭載することはできません。ディスク構成時には、十分注意して下さい。

また、Ultra2 SCSI 対応のディスクアレイコントローラと Ultra SCSI(Wide)対応のディスクアレイコントローラを混在して搭載することもできません。

■ Express5800 シリーズでのバックアップ運用の注意

Express5800 シリーズでは、ディスクアレイのサポートにより、データの保全性の向上が図られていますが、ディスクアレイ構成で運用中であっても、ディスクアレイコントローラ自体の障害、及び S/W によるシステムダウン障害が発生した場合にはデータが失われる可能性があります。

万一の障害に備え、極力、オプションのバックアップ装置(AIT,DLT など)をシステム構成に含めるように客先提案を行って下さい。また、バックアップ運用時に、定期的なクリーニングを行うよう、運用に関する提案も行って下さい。

■ UPS 運用 S/W の注意

UPS を使用して電源制御を行う場合、シャットダウン開始から電源切断までの猶予時間を正しく設定する必要があります。サーバがシャットダウンするのに必要な時間は、システム構成により異なるため、対象システムでシャットダウン時間の測定を行い、必要な時間を確認して下さい。猶予時間は、実際に測定した時間の 2 倍を推奨します。

該当 S/W に応じて、下記の様に設定して下さい。

- ・ ESM/PRO/AutomaticRunningController

[オプション] - [電源切断猶予時間]

* 規定値：3 分

- ・ ESM/PRO/UPSController

[設定] - [シャットダウンパラメータの設定] - [シャットダウンリブートの設定] - [UPS デレイ時間]

* 規定値：1 分

- ・ PowerChutePlus

[Configuration] - [UPS Shutodown Parameters] - [UPS Turn Off Delay]

* 規定値：20 秒(変更必須)

■ UPS によるスケジュール運転について

UPS のスケジュール機能を使用する場合、Remote Wake Up 機能は使用できません。

サーバ電源の自動 ON/OFF を行う場合は、UPS の機能にて行って下さい。

■ Remote Wake Up 機能について

Remote Wake Up 機能をサポートする機種及び LAN ボードにて、一度電源コンセントを外すと、Remote Wake Up 機能のコンフィグレーション情報が消去されます。サーバの移設等で電源コンセントを外す場合は、再設定が必要となるので注意して下さい。

情報サービスのご案内

■「58 番街」

「58 番街」では、エンドユーザを対象に Express5800 シリーズの製品情報を提供しています。エンドユーザから Express5800 シリーズに関するホームページを紹介する場合は、下記 URL を紹介して下さい。

また、NEC のホームページ(<http://www.nec.co.jp/>)から Express5800 シリーズの製品情報を辿ると「夜の 58 番街」へリンクしています。

[URL] <http://www.express.nec.co.jp/>



■「58 宝船」

「58 宝船」では、NEC 社内、及び販売店様、リセラー様を対象に Express5800 シリーズの製品情報、営業情報、技術情報を提供しています。ここでは、エンドユーザには公開しないレベルの Express5800 シリーズ販売・サポート部門向けに発行する製品通知、SE 通知、セールスマニュアル等に準ずる内容を提供しています。

また、「Express5800/100 シリーズ テクニカルガイド」(本書)の最新内容も「58 宝船」にて提供しています。

[URL] <http://soreike.wsd.mt.nec.co.jp/> (NEC 社内向け)
 <http://www.soreike.express.nec.co.jp/> (販売店様/リセラー様向け)

エンドユーザには公開しないレベルの秘密情報を提供しているため、販売店様、リセラー様からのアクセスはセキュリティを設けております。そのため、ご利用の際には、事前に登録が必要となります。

登録手続きに関しては、下記 URL をアクセスして下さい。

[URL] <http://www.soreike.express.nec.co.jp/touroku.html>

